

いちのみやの 社会福祉

2009

No.13
6月号

発行 社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会

福祉のまちづくり



福祉ふれあいコンサート(手話コーラス)

もくじ

- ・平成21年度事業計画・予算額…………… 2・3
- ・平成21年度主な事業内容…………… 4
- ・支会事業・生活福祉資金貸付制度…………… 5
- ・日常生活自立支援事業・心配ごと相談…………… 6
- ・福祉車輛等貸出・おもちゃ図書館…………… 7
- ・ボランティア養成講座・
 家族介護者リフレッシュ事業…………… 8・9
- ・ボランティアセンター事業…………… 10
- ・善意のご寄付・
 地域福祉サービスセンター・売店のご案内…………… 11
- ・福祉体験作文コンクール優秀作品・
 高齢者演芸発表大会の報告…………… 12
- ・福祉善行児童・生徒表彰…………… 13
- ・編集ボランティアのページ…………… 14・15
- ・障害者スポーツ大会…………… 16

社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会事業計画

基本方針

地域社会においては、人々の生活様式の変化や世帯の核家族化、住民同士のつながりの希薄化等により、家庭や地域での福祉機能の低下が進んできています。それに加えて、厳しい経済環境や雇用喪失の情勢の結果として、解雇等により地域住民の生活状況が悪化しています。

こうした中、地域福祉の中核的な推進機関である社会福祉協議会の役割は益々大きくなっています。そのため、行政をはじめ関係機関、民間諸団体等と一層連携を取りながら、よりきめ

細かい地域福祉活動の推進とネットワークづくりを目指し、市民が健康で生きがいを持てる福祉社会の実現に向けて取り組んでまいります。この様な基本の考えの基に、地域住民の多様化するニーズに対応し、信頼されるサービスの提供を行ってまいります。

介護保険・障害者福祉サービス事業については、民間事業所の増大による競争の激化等により、大変厳しい状況下にあります。今年度は三年に一度の介護報酬の改定がなされ、「質の高いサービスの提供ができる体制」と、「有資格者の配置要件を満たす」事業所

には、報酬が加算されることとなり、ますます事業に取り組む姿勢が評価されることとなります。

このため、「特定事業所加算」のとれる体制の整備を図りつつ、効率的、効果的な事業の実施により経営安定を図り、一層きめ細かな居宅サービスの向上に努めてまいります。

また、認知症高齢者、知的・精神障害者等判断能力が十分でない方の金銭管理や書類等の預かりサービスをする日常生活自立支援事業の周知に努め、制度の積極的な活用促進を図ります。

その他、ボランティア活

動のさらなる推進を図るほか、市民の安心を支える地域福祉サービスセンターによる「相談支援」や「心配ごと相談」等地域福祉の増進を目指した諸活動を積極的に推進します。併せて社会福祉の広報啓発や情報の提供、福祉教育にも引き続き取り組んでまいります。

重点目標

- 1 支会事業・活動の充実と法人経営の安定化基盤の確立を図る。
- 2 福祉サービス利用援助事業の目的に沿い、福祉サービスの向上と推進を図る。

- 3 地域福祉の主要な担い手として期待されるボランティアの養成講座を充実し、その育成と活動の推進を図る。

- 4 介護保険事業及び障害福祉サービス事業について、特定事業所加算のとれる体制の整備を図り、質の高い介護サービスの提供に努める。

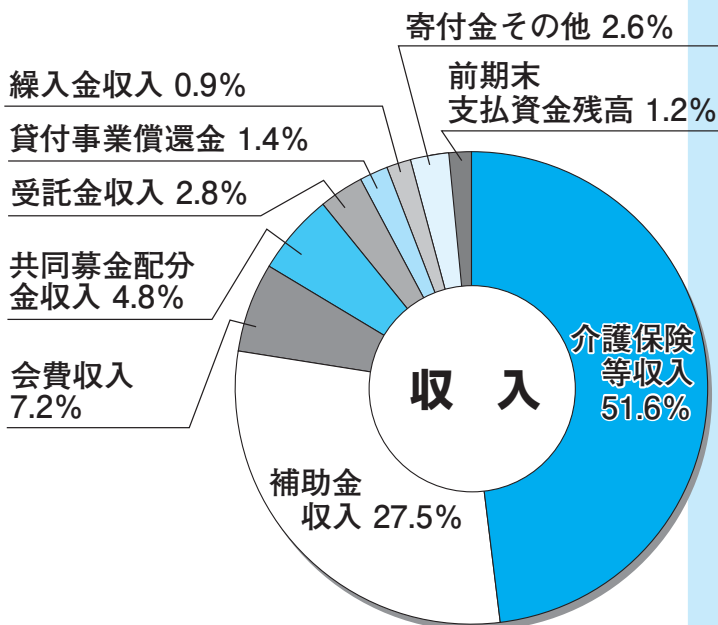


平成21年度 一般会計予算額 741,831,000円

収入

(単位：千円)

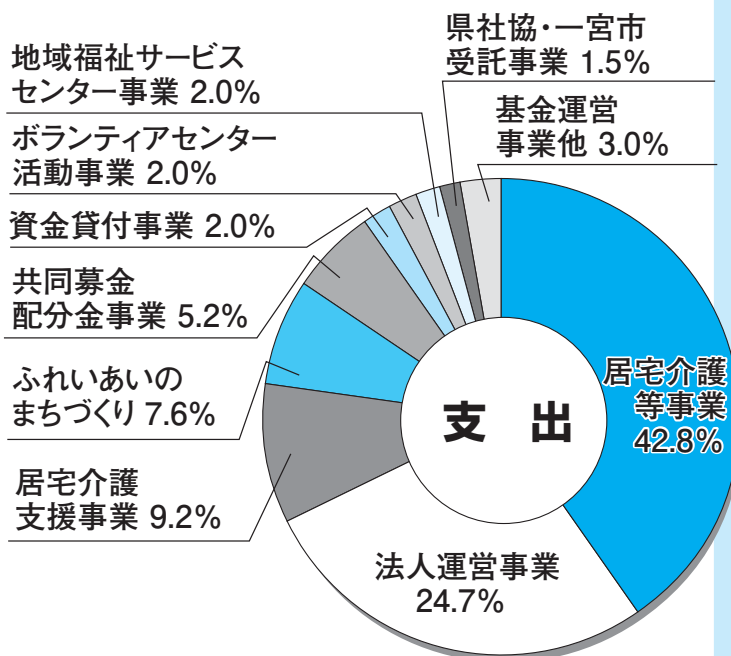
介護保険等収入	382,480
補助金収入	204,006
会費収入	53,764
共同募金配分金収入	35,475
受託金収入	20,833
貸付事業償還金	10,200
繰入金収入	6,731
寄付金その他	19,080
前期末支払資金残高	9,262
合計	741,831



支出

(単位：千円)

居宅介護等事業	317,802
法人運営事業	182,863
居宅介護支援事業	67,974
ふれあいのまちづくり	56,293
共同募金配分金事業	38,398
資金貸付事業	14,938
ボランティアセンター活動事業	14,884
地域福祉サービスセンター事業	14,575
県社協・一宮市受託事業	10,862
基金運営事業他	23,242
合計	741,831



平成21年度 特別会計予算額 売店事業 103,039,000円

平成21年度

社会福祉協議会の主な事業内容

本会では、地域社会の皆さんの福祉向上をめざし、安心して暮らせる豊かな福祉社会の実現に向けて、以下のような事業を推進してまいります。

●ふれあいのまちづくり推進事業

- ・市民総参加を基盤とした支会組織の充実強化

●ボランティアセンター活動事業

- ・ボランティアの登録・あっせん
- ・ボランティアの活動の啓蒙
- ・ボランティア団体の助成・育成
- ・ボランティア養成講座の開催
(手話・点訳・音訳・要約筆記・ガイドヘルプ・退職者・傾聴・防災等)
- ・福祉フェスティバルの開催

●居宅介護等事業

- ・指定訪問介護事業
- ・障害福祉サービス事業
- ・移動支援事業
- ・難病患者等ホームヘルパー派遣事業
- ・軽度生活支援事業
- ・育児支援家庭訪問事業
- ・シルバーハウジング生活援助員派遣事業

●居宅介護支援事業

- ・ケアプランの作成

●福祉サービス利用援助事業

- ・認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等に福祉サービスの利用援助

●地域福祉サービスセンター事業

- ・在宅介護等に関する相談、保健・医療・福祉の関係機関とのサービス調整など総合的な支援

●各種貸出事業

- ・福祉車輛の貸出
- ・車椅子の貸出

●共同募金配分金事業

- ・老人福祉活動
(敬老の日等行事・老人クラブ等への助成)
- ・障害児・者福祉活動
(各障害児・者団体への行事等への助成)
- ・児童・青少年福祉活動
(児童福祉関係団体への助成)
- ・母子・父子福祉活動
(各関係団体への助成)
- ・福祉育成・援助活動
(低所得者階層への助成・広報活動等)
- ・ボランティア活動育成事業
(ボランティアの地区活動推進・グループへの助成)
- ・歳末たすけあい配分金事業
(ひとり暮らし老人の歳末慰問)

●資金貸付事業

- ・生活福祉資金
- ・小口資金
(くらし資金・生活資金・福祉金庫)

●心配ごと相談事業

- ・市民の方の悩みごとの相談

●障害者スポーツ大会事業

- ・障害者(児)スポーツ大会を開催し、障害者の体力の維持、増強

●家族介護者等支援事業

- ・家族の介護者の支援

●視覚障害者パソコン教室事業

- ・目の不自由な方を対象としたパソコン教室

●その他

- ・基金運営事業
- ・売店事業(市民病院)

社会福祉協議会の支会活動

本会では地域福祉の推進を図るため、市内23の連区単位に支会が組織されています。支会は住民から寄せられた会費を財源とし、地域にある様々な福祉課題やニーズを見つけ、問題解決に向けて住民が主体的に運営していく組織です。

メンバーは町会長、民生児童委員、各種福祉団体、ボランティアの代表者などで構成され、地域の実情に合わせた福祉活動を実践しています。

加入いただいた会費は下記のような活動を各支会で有効に活用されています。

主な活動内容は以下のとおりです。

<会費の種類>

- ・ 一般会員 1口 500円
 - ・ 法人会員 1口 1,000円
- ※ 1口以上でご協力をお願いします。

(地域福祉活動)

児童・高齢者・障害者等の福祉団体の活動を支援し、同時に住民への福祉教育も充実させ、ボランティアを始めとする地域福祉の担い手を育成します。

(地域振興活動)

公民館活動、交通安全対策、防犯・防火対策、各種団体への助成などにより、地域の活性化を図り、福祉の向上に寄与し、住みやすいまちづくりを目指します。

(ふれあい事業)

ひとり暮らしの高齢者が孤独感、疎外感を感じることなく、潤いのある日常生活が送れるよう相互の交流を深める集いを開催します。

(見守りネットワーク事業)

高齢者・障害者などの孤独死、DV、子どもの連れ去りなどの社会問題を未然に防ぐため、関係団体が連携し見守り活動を実践します。

(敬老会事業)

多年にわたり社会の進展に貢献された高齢者に対し、敬愛と感謝の意を込めて敬老会を開催して長寿をお祝いします。

※対象年齢は75歳以上

生活福祉資金貸付制度

生活福祉資金は、他の資金の借入れが困難な所得の低い世帯、障害者の方や日常生活に介護の必要な65歳以上の高齢者がいる世帯の自立更生を図る貸付制度です。

種 類			種 類		
更生資金	生業費	事業（規模は借受人の属する世帯範囲内）を営むのに必要な資金	療養介護等資金	療養費	家族の負傷や疾病で療養（原則として1年以内）に必要な資金
	技能習得費	就職に必要な知識、技能の習得に必要な資金		介護等費	家族が介護保険の対象となる介護サービス、障害者サービス等を受ける（原則として1年以内）に必要な資金
福祉資金		出産、葬祭、転宅、住居の増改築、障害者用の自動車購入等に必要な資金	災害援護資金		災害による生活の困窮から立ち直るために必要な資金
修学資金	修学費	家族が学校教育法に規定する高校・大学等に就学する際に必要な資金	離職者支援資金		生計中心者の失業によって生計の維持が困難となった世帯の生活に必要な資金
	就学支度費	家族が上記学校に入学する際に必要な資金	長期生活支援資金		低所得で、世帯員全員が65歳以上の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産(土地)を担保に生活資金を貸付

※1 県内に居住する連帯保証人が1名必要となります。その他、一定の条件がありますので、詳しくは、本部・尾西支部または木曽川支部までお尋ねください。

[上記の他、災害など不時の支出や一時的な収入減により、生活に困ってみえる低所得世帯への小口資金の貸付制度もあります。]

日常生活自立支援事業をご存知ですか？

認知症高齢者や知的・精神障害者の方々のために安心して暮らせるお手伝いをします。

どんな人が利用できるの？

日常生活に不安を抱えている認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などで、自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方や、お金の出し入れ・書類の管理などをするのに不安のある方

※手帳を持っている方、診断を受けている方に限られるものではありません。

※病院や福祉施設に入っている方も利用することができます。

どんな援助をしてくれるの？

◆福祉サービスの利用援助

- ・さまざまな福祉サービスの利用に関する相談・情報提供
- ・福祉サービスの利用料の支払い手続き
- ・福祉サービスに関する苦情解決制度の利用手続き

◆日常的金銭管理サービス

- ・年金や福祉手当の受領に必要な手続き
- ・病院への医療費の支払い手続き
- ・税金や社会保険料、電気、ガス、水道等の公共料金の支払い手続き
- ・生活費に必要な預貯金の出し入れ、また預金の解約の手続き

◆事務手続きの援助

- ・住宅改造や居住家屋の賃貸に関する相談・情報提供
- ・住民票の届出等に関する行政手続き
- ・日常生活上の消費契約の手続き

◆書類等の預かりサービス

- ・銀行の貸金庫で通帳や印鑑、証書などの保管
〈預かることのできるもの〉年金証書、預貯金通帳、銀行届出印、実印、証書（保険証書・不動産権利証書・契約書等）など

〈預かることのできないもの〉宝石、書画、骨董品、貴金属など

※預かりサービスのみ利用はできません



利用料はいくらかかるの？

援助内容	利用料
●福祉サービスの利用援助 ●日常的金銭管理サービス	1回 1,200円 生活保護受給者は無料
●書類等の預かりサービス	月額 250円（年間3,000円）

ご相談・問合せ 本部 TEL24-2940 尾西支部 TEL63-4800 木曾川支部 TEL87-2000
プライバシーに配慮し秘密は厳守します

悩みごと・困りごとは心配ごと相談所へ **無料**

「心配ごと相談」は民生児童委員、「法律相談」は弁護士が相談にあたります。

心配ごとをもつ人なら誰でも、どんな問題でも相談ができ、相談内容等についてはすべて秘密ですのお気軽にお出かけください。

	日時	会場
心配ごと相談	毎週火・金曜日 午後1時～4時 (第1・第3火曜日除く)	祝日の場合は休み 思いやり会館 3階 TEL72-5052
	毎週水曜日 午後1時～3時	
法律相談	毎月第1・第3火曜日 午後1時～4時 事前に予約必要 TEL73-4363	祝日の場合は翌週 思いやり会館 3階 TEL72-5052
	毎月第2・第4水曜日 午後1時～4時 事前に予約必要 TEL61-5511	

※平成21年度より、心配ごと相談の高齢者生きがいセンター会場は廃止になりました。

貸出しのご案内

◆福祉車輦

- *いとう号 3台 軽自動車・3人乗り（車いす1台含む）
- *ふれあいヘルプ号 1台 軽自動車・3人乗り（車いす1台含む）
- *たかし号 1台 ワンボックスタイプ・8人乗り（車いす2台又は車いす1台とストレッチャー1台含む）
- *愛のふれあい号 1台 ワンボックスタイプ・6人乗り（車いす1台含む）



利用できる方は…

- ・車いす等を必要とする方で市内に住所を有する方。
- ・車いす等を必要とする方の親族で市内に住所を有する方。
- ・市内の社会福祉協議会法人会員の事務所に勤務する方。
- ・市内の福祉団体及び市内で活動するボランティア。

費用はいくら…

走行距離10kmまでは100円。それ以降は、10kmまでごとに100円加算。

貸出し期間は…

原則2日以内です。

申し込みは…

貸出し、返却は午前9時～午後5時まで。（土日、祝日、年末年始を除く）

いとう号（3号）……………本 部 TEL 24-2940
 いとう号（1.2号）、たかし号……………尾西支部 TEL 63-4800
 ふれあいヘルプ号、愛のふれあい号 ……木曾川支部 TEL 87-2000



◆車いす

利用できる方は…市内在住の車いすが必要な方（介護保険給付対象者を除く）

貸し出し期間…3ヶ月以内に返却（その後の更新不可）

料 金…無料

問 合 せ…本部 TEL24-2940・尾西支部 TEL63-4800・木曾川支部 TEL87-2000

おもちゃ図書館へ遊びにおいでよ！

「おもちゃ図書館」では、木のおもちゃ、手づくりの布おもちゃ、外国製のおもちゃなど、子どもが喜ぶおもちゃで自由楽しく遊ぶことができます。

館内はボランティアの皆さんによって運営されており、温かく迎えてもらえますよ。

ぜひ、親子で遊びに来てくださいね。

おもちゃ図書館は、「おもちゃの城」と「なかよし」の2館ありますので気軽にご利用ください。

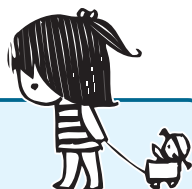
利用できる方 小学校入学前の子ども（保護者同伴）

利用料 無料

《おもちゃの城》

開館日時 毎週火・水・金曜日
 毎月第2・第4土曜日（障害児対象）
 いずれも午前10時～午後2時

場 所 一宮市浅井町前野字西敷34
 （ふれあいセンターめぐみ内）
 TEL 52-0801



《なかよし》

開館日時 毎週月・木・金曜日
 毎月第1・第3土曜日（障害児対象）
 いずれも午前10時～午後2時

場 所 一宮市丹陽町重吉字北屋敷380
 （ふれあいセンターなごみ内）
 TEL 76-1260



* 祝日および年末年始は休館です。

おもちゃ図書館では、運営ボランティアを募集しています。
 詳細は本部（TEL 24-2940）または、各おもちゃ図書館へお尋ねください。

参加してみませんか

傾聴ボランティア講座

傾聴ボランティアとは、普段から話をする機会が少なく、悩みや寂しさを抱える高齢者などの気持ちによりそって、話を聴くことに重点をおくボランティア活動です。

内 容	話し相手をよりよく理解するための知識とコミュニケーション技術を学びます。
日 時	6月12日～6月26日（3回） 毎週金曜日 午後1時～4時
場 所	本部 会議室
対 象 者	市内在住・在勤でボランティア活動に関心のある方（先着20名）
受 講 料	無 料

申込み 6月5日（金）午前9時から本部（TEL24-2940）へ

防災ボランティアコーディネーター養成講座

昨今、世界的な異常気象が起こっており、いつ、どこで災害に遭遇してもおかしくない状況におかれています。

特にこの地域では、東海・東南海地震が近未来に必ず発生すると言われ、災害への「備え」の重要性や防災意識が高まっています。

そこで、災害発生時に災害ボランティア支援本部の中心的役割を担っていただける「防災ボランティアコーディネーター」の養成講座を下記の日程で開講します。

万が一の災害発生からの復興に、あなたの力を発揮してみませんか？

月 日	時 間	場 所	内 容
8月2日（日）	午前9時～午後5時	一宮市高齢者 生きがいセンター	講義：ボランティアってなあに？ 過去の災害ボランティア体験談 グループワーク：ボランティアについて考える 講義：災害について考える 講義：一宮市の防災体制について 実技：救助法について
8月9日（日）	午前9時～午後5時	一宮市高齢者 生きがいセンター	講義：コーディネーター概論 実技：図上演習 実技：地域支援本部立ち上げ訓練
防災センター見学 8月23日（日） ※参加自由	午前9時～正午	岐阜県広域 防災センター （各務原市）	施設見学、地震体験など

・対 象 市内在住の中学生以上の方

・受講料 無 料

・定 員 40名（先着順）

・申込み 7月6日（月）午前9時から本部（TEL24-2940）へ

家族介護者のみなさんへ リフレッシュ事業に参加しませんか？

日ごろの介護から少しの間だけ離れ、同じように家庭で介護をしている方々と日ごろの悩みや体験を語り合い、介護疲れをリフレッシュしましょう。

対象者：市内在住の方で「介護保険法」において、「要支援1・2、要介護1～5」と認定された方を在宅で介護されている方

月 日	時 間	内 容	場 所
7月15日（水）	午前9時～ 午後5時	日帰りバスツアー ヘルパー、保健師による個人相談	郡上大和 古今伝授の里 天然温泉「やまと」

参加費：500円（当日にお支払い下さい）

集合場所：木曾川庁舎 定 員：20名（先着順）

申 込 み：6月8日（月）午前9時から木曾川支部（TEL87-2000）へ

ボランティア養成講座

手話入門講座

内 容	手話の経験がない方を対象に日常会話程度の手話を学びます。
日 時	7月15日～9月30日（10回）毎週水曜日 午前10時～12時（8月12日・9月23日は休みます）
場 所	社会福祉協議会木曾川支部（一宮市高齢者生きがいセンター）
対 象 者	市内在住・在勤の方で手話の経験がない方（先着20名）
テキスト代	1,200円
申 込 み	6月10日（水）午前9時より木曾川支部（TEL87-2000）へ

手話基礎講座

内 容	入門講座又はサークル等で経験はあるが、実際に聴覚障害者とのふれあいの場を設け、ボランティア活動につながるよう養成します。
日 時	6月18日～10月1日（15回）毎週木曜日 午後7時～8時50分（8月13日は休みます）
場 所	社会福祉協議会木曾川支部（一宮市高齢者生きがいセンター）
対 象 者	市内在住・在勤の方で手話入門講座修了または手話を2年以上学んでいる方（先着20名）
テキスト代	1,470円
申 込 み	6月4日（木）午前9時より木曾川支部（TEL87-2000）へ

夏休み手話教室

内 容	夏休みに聴覚障害者の方とふれあい、「聞こえない」とはどういう事かを考え、コミュニケーションの方法の一つである手話を学びます。
日 時	7月22日～8月26日（5回）毎週水曜日 午後1時～3時（8月12日は休みます）
場 所	社会福祉協議会木曾川支部（一宮市高齢者生きがいセンター）
対 象 者	市内在住で小学4年生～中学3年生（先着20名）
テキスト代	無料
申 込 み	6月10日（水）午前9時より木曾川支部（TEL87-2000）へ

※各講座は定員になり次第締め切らせていただきます。また原則、全日程出席できる方を優先しますのでご了承ください。

里親ボランティアを募集!!

一宮市社会福祉協議会では、児童養護施設の入所児童が心身ともに穏やかに成長するための一環として、児童に一般家庭での生活体験をしてもらおうと「里親ボランティア事業」を実施しています。

この事業は、1週間程度里親さんとして施設の児童を預かっていただき、児童に家庭の温かさを体験してもらうものです。

実施期間は、5月のゴールデンウィーク、お盆、年末年始の年3回です。

ボランティアとしてご協力いただける方は本部（TEL24-2940）へご連絡ください。

ボランティアセンター事業

ボランティアセンターでは、皆様の善意を生かすために、ボランティア活動を希望される方が積極的に参加できるように支援しています。ぜひボランティア登録をして、ボランティア活動に参加しましょう。

ボランティアの登録、斡旋

地域住民の方にボランティアとして活動できる内容を登録いただき、ボランティア希望者と受け入れ先の連絡調整をします。

ボランティア養成講座の開催

地域福祉の重要な担い手として期待されるボランティアの育成を図るため、手話、点字、ガイドヘルプ、防災ボランティアコーディネーター講座等の養成講座を開催します。

ボランティアの啓発

福祉フェスティバル「みんなと一緒に“福祉とボランティア活動展”」を開催し、ボランティア活動に対する意識の高揚を図ります。

ボランティア保険の加入

活動中における万一の事故に備えて、ボランティア自身のケガの見舞金や第三者に損害を与えた場合の賠償金を補償する保険への加入をすすめています。

声の広報の発行

視覚障害者の方に市広報をテープに吹き込み、自宅まで送付します。



ふれあいバスツアーでの様子



車いすガイドヘルプボランティア養成講座での様子

ボランティアに関するお問合せがありましたら、ボランティアセンター（一宮市社会福祉協議会内）までお気軽にご相談下さい。

社協ホームページにボランティア名簿が掲載されています

下記サイトをご覧ください。あなたもボランティアしてみませんか？

手順
1


一宮市社会福祉協議会

または、ホームページ
<http://www.138sk.org>へアクセス

手順
3

ボランティア名簿
「ボランティア名簿は[こちら](#)から
ご覧ください。」の[こちら](#)をクリック

手順
2


ボランティアセンターの
ボランティアの登録、斡旋、名簿をクリック

手順
4

施設をはじめ災害・その他分野別で見ることができます。
個人ボランティアさんも見れますよ！
また、五十音別でも検索することができます。ご活用ください。

善意のご寄付ありがとうございました

平成20年12月1日～平成21年3月31日

(敬称略・順不同)

尾張中小企業協会	尾西クラブ
大志連区女性の会	ギャラリーモンベール
伊藤嘉代子	一宮市立西成東部中学校
ダイセーエクスプレスシステム(株)	一宮北部少年野球クラブ
エス・ビー建材(株)(4回)	料理自主グループ「男の料理」
向山連区女性の会	和の会、楽しいクッキング、ニコニコ会
起ジュニアクラブ	アピタ木曾川店
西成ささゆり会	ぎふしん愛の預金会
連合愛知尾張西地域協議会一宮地区連絡会	ピアゴ尾西店
一宮市グラウンドゴルフ協会	萩原町北部新和会老人クラブ
健康づくり	アピター宮店
丹陽グラウンドゴルフクラブ	J A 愛知西女性部
チャーチル会一宮	びさい消費生活学校
いちい信用金庫宮西支店	グラウンドゴルフ葉栗若葉会
一宮興道高等学校生徒会	浅井積徳会
一宮市職員労働組合	21世紀女性の会
小島輝彦(2回)	金剛プラザ幼稚園PTA
一宮モラロジー南・中・北事務所女性クラブ	匿名 17件
イチコウ建設(株)イチコウ会	

合計 77,963,805円

一宮市地域福祉サービスセンター

地域福祉サービスセンターでは、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるよう介護や福祉サービスなど日常生活におけるあらゆる相談に対して支援を行っています。

訪問相談も行いますので、お気軽にご相談ください。

また、心身障害者、ひとりぐらしの高齢者、介護者等を対象に交流の場としておもに尾西地区でふれあいの集い、ミニ会を開催しており、ふれあいいきいきサロンの支援活動も行っております。

- 対象者** ●身体障害者(児) ●知的障害者(児) ●精神障害者
●母子・父子世帯 ●その他支援を必要とする方(高齢者など)
- 相談時間** 平日の午前8時30分～午後5時15分(土・日・祝日・年末年始は除く)
- 問合せ** 尾西支部(担当:玉腰) TEL63-4800 FAX61-2970
木曾川支部(担当:遠藤) TEL87-2000 FAX86-0309

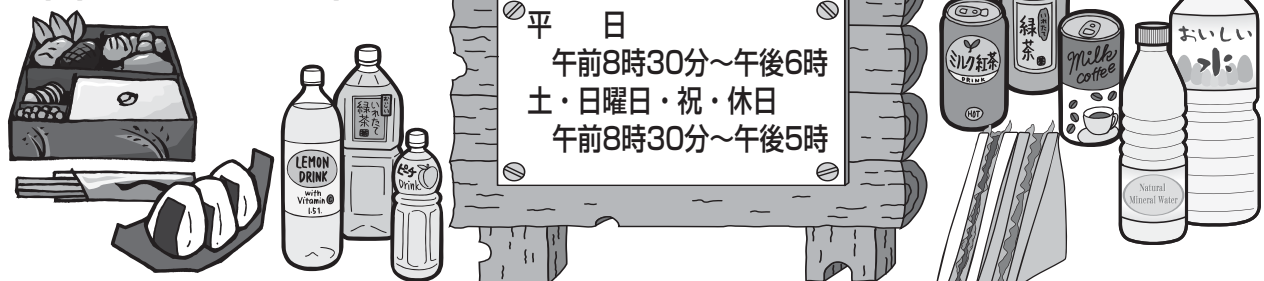


売店のご利用を!

一宮市社会福祉協議会では、一宮市立市民病院の中で売店を経営しております。

売店では、入院中に使用される日用品のほか、弁当・菓子・飲物類・本・衛生用品などを販売し、その収益金は、社会福祉協議会の貴重な財源として有効に活用させていただいております。

●営業時間のご案内



平成二十年度福祉体験作文コンクール優秀作品

愛知県社会福祉協議会の主催により、福祉活動やボランティア活動について児童・生徒から645編の福祉体験作文が寄せられ、その結果、県内で25の優秀作品が選ばれました。一宮市からも瀬部小学校1年の大橋結音さん、末広小学校3年の田中千尋さん、大和南小学校6年の伊藤佳穂さん、北部中学校2年の浅井まなさん、中部中学校3年の杉山さえ美さんの作品が入選されましたので、その中から一編をご紹介します。

(平成二十年度の学年です。)

わたしのじいちゃん

一宮市立末広小学校 三年

田中千尋



わたしのおじいちゃん、大正十五年生まれで、八十二さいです。わかい時には、せんそうに行ったことがあると、おばあちゃんが言っていました。お母さんが子どものころは、

とてもきびしいお父さんだったそうです。そのおじいちゃんが、今年の一月九日、心ぞうほっ作を起こして、びょういんへ運ばれました。いろいろなけんさをしておじいちゃんには心ぞうが弱っていて、ちほうしようもひどいことがわかりました。

入いんして一週間たったころ、わたしは、はじめてお見まいに行きました。おじいちゃん、青い顔をしてねむっていて、からだにはいろいろななきかいや、

点てきがたくさんつけてありました。「おじいちゃん。」とわたしは小さい声でよんでみましたが、返事がないので、なんだかかなしくなりました。

二月になって、おじいちゃんのびょう気は少しよくなりました。わたしがお見まいに行くと、目を細くして「うん、うん」とうなずいてくれます。わたしは、もっとおじいちゃんに元気になってほしくて、バレンタインにプレゼントをすることにしました。妹と二人で、かわいいこ犬の絵がついたカードをえらんで、「おじいちゃん、早くびょうきがよくなるといいね。」と書きました。

おじいちゃんにカードをわたすと、ふしぎそうにじつと見つめていました。おばあちゃん、ベッドでねていてもよく見えるようにと、かべにカードをはってくれました。

三月にはいると、おじいちゃんはいぶ元気がなりました。そして、からだも元気になると、記おくも少しずつもどつてきたのです。わたしがお見まいに行くと、「ちーちゃん。」とよんでくれるので、うれしくなりました。でも、今どはおばあちゃんのぐあいが変わるようになってしまいました。おばあちゃんは、ずつとおじいちゃんのかんびょうをしようとしたのでつかれてしまったのです。わたしは「かんびょうって大へんなんだな。わたしにも何か手つだえることがあるといいの。」と思いました。

今おじいちゃんは、一週間に三回、デイサービスに通っています。あばあちゃんも大好きなたつ球に、また行け

るようになりました。それでも、やつぱりおじいちゃんのおせわは大へんそうです。わたしは、まだ子どもなので大人の人のようなお世話はできません。でもおじいちゃんちに行くと、「ちーちゃん顔を見ると元気がでるよ。」といつも言ってくれます。だからこれからも、おじいちゃんちにいつぱい行って、二人にいろんなお話をしたいと思ひます。そして、大きくなったら、もっとお手つだいができるようになりたいです。



一宮市高齢者演芸発表大会を開催しました

“春は名のみ”の2月14日(土)に第12回一宮市高齢者演芸発表大会が萩原老人福祉センターの2階大会議室を舞台に開催されました。一宮市内から応募いただき抽選で選ばれた50組が出演されました。

演目はカラオケ、民踊、舞踊など。各自の持ち味を存分に披露される出演者の皆さんに、客席からは惜しみない拍手が。会場内は暖房など要らないくらい、熱気があふれていました。

平成20年度 福祉善行児童・生徒を表彰

福祉善行児童・生徒表彰は、学校生活・社会生活において、児童・生徒として福祉活動、ボランティア活動に積極的に参加し、その活動を通して、明るいしあわせな地域社会づくりに寄与している児童・生徒を表彰しています。

今年で52回目を迎え、去る2月13日（金）尾西生涯学習センターで表彰式を行いました。



●主な福祉善行内容

○小学校の部

- ☆ 児童会活動の企画・運営に積極的にたずさわり、全校児童の模範となっている。
- ☆ 朝のボランティア活動では、児童が利用する昇降口の清掃を熱心に行い、全校児童が気持ちよく昇降口を利用できるよう日々努めることができた。
- ☆ 特別養護老人ホームへの訪問では、グループで劇を披露し、入所のお年寄りの心を癒そうと、一生懸命取り組んだ。
- ☆ 困っている級友がいるとさりげなく援助の手をさしのべるので級友からの信望も厚い。

○中学校の部

- ☆ 欠席がちな生徒への細かい配慮も忘れることなく、学級全体をまとめ引っ張っていくリーダー性を備え、学年集会や学校行事に対しても実行委員となり、積極的に取り組む姿勢を見せた。
- ☆ 生徒会主催のあいさつ運動では、執行部として先頭に立って早朝から大きな声で取り組むとともに、学期末の大掃除ボランティアでは、清掃場所の選定・割り振り、清掃方法など計画段階から意欲的に活動した。

●被表彰者は、次の皆さんです（平成20年度の学年です。）

<小学校の部 42名>（6年生）

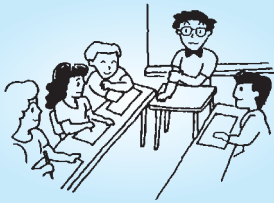
（敬称略）

学校名	氏名	学校名	氏名	学校名	氏名	学校名	氏名
宮西	森 達哉	丹陽西	原 尚義	千秋	山田 萌佳	三条	浅野 友予
貴船	福田 真由	丹陽南	中田 好香	千秋南	福本 みわ	小信中島	牧野 恵美
神山	遠藤 加奈子	浅井南	田上 功也	富士	磯貝 真子	朝日東	坂井 志帆
大志	丹羽 晴菜	浅井北	脇田 健杜	末広	横丁 幹人	朝日西	渡邊 有希
向山	北村 銀将	北方	豊田 恵佑	西成東	片桐 佳来	開明	中嶋 愛
葉栗	岩田 悠太郎	大和東	川島 孝佑	今伊勢西	山城 あかね	大徳	横倉 花
西成	塩脇 亜理沙	大和西	河辺 聖	葉栗北	稲葉 大貴	黒田	長谷川 智之
瀬部	辻井 俊樹	今伊勢	齋藤 将之	大和南	伊藤 佳穂	木曾川西	岩村 昂紘
赤見	小池 朱香	奥	江藤 颯馬	浅井中	春日井 親哉	木曾川東	菱川 雄大
浅野	足立 匠	萩原	内野 奈緒	千秋東	三輪 茉奈		
丹陽	日置 瞬也	中島	小島 大季	起	春日 遊穂		

<中学校の部 20名>（3年生）

（敬称略）

学校名	氏名	学校名	氏名	学校名	氏名	学校名	氏名
北部	藤下 暁子	丹陽	河合 研治	奥	稲垣 友美	尾西第一	土田 育美
中部	山内 麻央	浅井	河村 祐希	萩原	荒木 毬衣	尾西第二	竹内 彩華
南部	鈴木 拓真	北方	安藤 広晃	千秋	春日井 翔一	尾西第三	三宅 沙依
葉栗	渡邊 卓也	大和	愛川 幸之丞	西成東部	寺澤 龍明	木曾川	水野 桃奈
西成	浅井 千明	今伊勢	三橋 拓明	大和南	木全 菜月	大成	小野 真智子



「健康寿命」を延ばすボランティア活動

— とある喫茶店でのこぼれ話 —

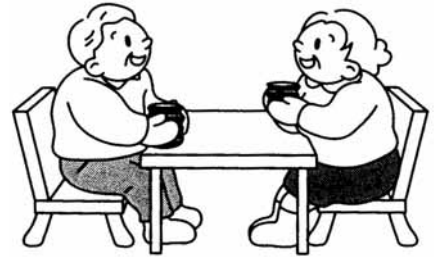
Aさん： ボランティア活動って、一生懸命手伝ってもお金にならないでしょ。家でテレビでも見ている方がよっぽどましよ。エーッ、あなたは会費まで払ってるの？ どうしてなの？

Bさん： わたくしは三つのボランティアをしています、どれも年間2000円の協力費を納めています。この6000円で自分の「健康寿命」を延ばしてもらっているからです。それは次のような考えからです。

- ① 会合、活動などで外出の機会が多くなること
- ② 活動で身体を動かすし、周囲の目に入るものを判断し常に頭を使うこと
- ③ 人前で話したり仲間との会話でストレスが発散できることなどです。

協力費の代償に「健康をもらっている」と思っているのも勿体ないとは思いません。あなたもまだまだお若いから、何かボランティア活動を始めてみたら如何が？ 社会福祉協議会に行けば紹介してくれますよ。

Aさん： ヘー そういう考え方もあるんですね。なんか少しボランティア活動の楽しさが分かって来たような気がしてきました。思い切って相談してみようかな？



今多くの人たちが「寝たきり長寿」にはなりたくない不安をつのらせているのではないのでしょうか。人の輪の中で自分の役割に喜びや自信を持てることが「健康寿命」を延ばすことに繋がると思います。6000円が無駄と思うかどうかは一人ひとりの考え方だと思います。要は家に閉じこもらないことです。

初めてのボランティア活動

傾聴ボランティア講座がきっかけで、実際にボランティア活動へ参加することになりました。講座では「相手の立場に立って、気持ちを察して話を『聴く』難しさ」を学びましたが、ロールプレイング（ここでは、話し手と聴き手の役割で行う対話練習）しか経験がありません。果たして実際にうまく話を聴けるのだろうか。ましてや、初対面で見ず知らずの私に話をしてくださるのだろうか。当日は不安な気持ちと緊張感を抱いて、いよいよボランティア先へ訪問です。

ベテランの方と一緒に訪ねた施設では、お話をしてくださるお年寄りの方々が待っていてくださいました。私を見て「誰だろう？」と不思議そうな顔をされる方々に「お話を聴かせてくださいね」と元気よく自己紹介をしたものの、その後は沈黙が続きます。とても元気に明るく話しかけるベテランの方を横目に、何をどう切り出したらいいか焦るばかりで、結局、ほとんどの時間はニコニコと笑って座っているだけで終わってしまいました。

普通の日常会話でしたら話はずむのでしょうか、傾聴ボランティアとは「話をすることで少しでも元気になってもらうための話し相手」なのです。相手の心に寄り添って話を「聴く」には、相手が心を開いてくれないと聴けません。話しやすい雰囲気をつくるにはどうしたらいいのだろう？と、コミュニケーションの大切さを痛感しました。

初めてのボランティアは反省しきりの内容でしたが、それでも帰り際にかけていただいた「また来てね」の言葉は、これから活動を続けていくための励みになると思います。



吟・剣・詩・舞・居合の魅力で訪問活動

此は、日本人自身が育てあげた芸道であり、日本人の伝統的美徳でもあります『礼と節』、此の事項により相乗効果が生まれます。

第一点は、心の栄養剤と頭の体操で有ります。

吟詠の素材となります漢詩の中に、人生の教訓となる名句が多く、忘れがちな漢字の読み書き勉強ができます。

第二点は、心の安定剤

社会機構の複雑化、生活文化の機械化、競争の激化等、精神的な緊張の時代に依る、ストレスの解消になります。

第三点は咽喉の強化と、体の妙薬

腹式呼吸法に依り、血液を酸性からアルカリ性に変え風邪をひかず、背筋の真っ直ぐな姿勢に依り美容効果として大変良い。

剣舞とは、広い意味では刀剣をもちいた舞の事である。本来は、詩吟に合わせて日本刀を抜いて舞う事を指す。又、詩吟に合わせて扇子のみで舞う事を、詩舞、二つ合わせて剣詩舞と呼びます。剣を用いた舞は、古代から雅楽や神楽の中に散見された。幕末に至って頼山陽の漢詩が盛行すると共に、吟詠に合わせて興の赴くままに一剣を抜いて即興で舞う事が、知識階級から武士層、特に勤皇の志士の間で流行した。

剣舞の創成期は、明治期に入ってしばしば各地で開催された撃剣（当時、剣道はこう呼ばれていた）興行のプログラムの一つとして、剣舞を興じ庶民の喝采を博す中で、徐々に詩吟+剣舞という基本形が作られていったのでした。

明治37・38年の日露戦争には、戦中の戦意高揚と戦後の祝勝に華を添え、世人の熱烈な歓迎を受ける剣舞の基となった。

居合とは日本刀の鞘に収めた状態で帯刀し、鞘から抜き放つ動作で一撃を加えるか、相手の攻撃を受け流し二の太刀で相手に留めを刺す形、技術を中心に構成された武術である。居合、居合術、抜合、居相、鞘の内、抜剣等と呼ばれる事もある。日本での武芸十八般では抜刀術の名で教えられている。本来、見せる物ではなく、静なる心と所作が己を磨くのであり殺人剣ではなく、活人剣とすることが武道の神髄とされる。

※ボランティア・訪問等お知りになりたい事がありましたら
下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：北辰神桜流 桜桃会 本田崇峰
TEL0586-76-0001 携帯090-3444-0038

場 所：向山公民館 詩吟 月曜日19:00~20:50
剣詩舞 水曜日19:00~20:50



老若男女、年中行事&イベントのススメ

突然ですが、皆さん、行事やイベントを楽しんでいますか？

日本には素晴らしい四季があり、昔から数々の催事があります。

「お正月」「節分」「ひなまつり」「端午の節句」「七夕」「お盆」「お月見」「クリスマス」「大晦日」…etc. また個々人の慶弔に関する事としては、「誕生日」「入学・卒業記念日」「成人式」「結婚記念日」「歓迎会・送別会」「還暦」…etc. 数え出せば、きりがありません。そういった諸々の行事やイベントを生活の中で能動的にとらえ、積極的に企画・実施してみてもどうでしょうか？ 子供にとっては、古くからの日本の風習に触れ、学ぶ、いい機会になりますし、そこで親子・祖父母とのふれあいもあることでしょう。また、お年寄りの皆さんにとっては、昔を懐かしむことやそれをきっかけに異世代の人達と交流することで、大げさに言えば日本文化や風習の伝承ができ、脳の活性化にもつながるでしょう。

また、それらを企画、実施することで、人的交流や社会的意識も高まり、日々の生活に活気と潤いが生まれるに違いありません。忙しい毎日だからこそ、行事やイベントを企画、実施し、豊かな人生の糧にしてみてもいいかもしれません。

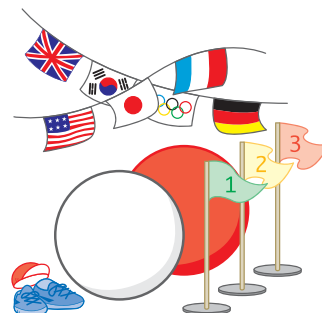


障害者スポーツ大会に参加しませんか？

障害のある方が体力の維持、増強に努めてきた成果を発揮し合い、スポーツを通じてお互いを理解し、健常者と共に楽しい一時を過ごしていくスポーツ大会を開催します。

障害をお持ちの皆さん、一緒に楽しく運動して、心地よい汗をかきましょう！

日 時 7月5日（日）午前10時～午後1時
会 場 木曽川体育館
対 象 市内在住の障害者・付添人
種 目 綱引き・玉入れ・大玉リレー
・車イス競争・パン食い競争ほか
参加料 無料
申込み 6月15日（月）までに本部（TEL 24-2940）へ



ストライクボード



昨年の様子

車イス競争

社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会 本部

〒491-0847 一宮市大和町宮地花池字中道9番地16
TEL 〈0586〉 24-2940（代表） FAX 〈0586〉 72-5022
ホームページ <http://www.138sk.org>

尾西支部

〒494-8601 一宮市東五城字備前12番地
（一宮市役所尾西庁舎東館4F）
TEL 〈0586〉 63-4800
FAX 〈0586〉 61-2970

木曽川支部

〒493-0001 一宮市木曽川町黒田字西沼51番地
（一宮市高齢者生きがいセンター内）
TEL 〈0586〉 87-2000
FAX 〈0586〉 86-0309

本紙は目の不自由な方のためにテープに録音し貸出しており、点字版広報も配布しております。ご希望の方は本部まで